


洋光台「団地の未来プロジェクト」整備状況



 地 の 未 来

The Future of Housing Complex Project
danchinomirai.com

UR都市機構 神奈川エリア経営部
令和5年3月23日

1. 洋光台北 1 - 1 号棟建替 (クラウド施設)

➤ 【建物概要】

住棟 : 鉄筋コンクリート造 地上10階建 (住宅戸数92戸)

付属棟 : 鉄骨造 クラウド施設 1階建

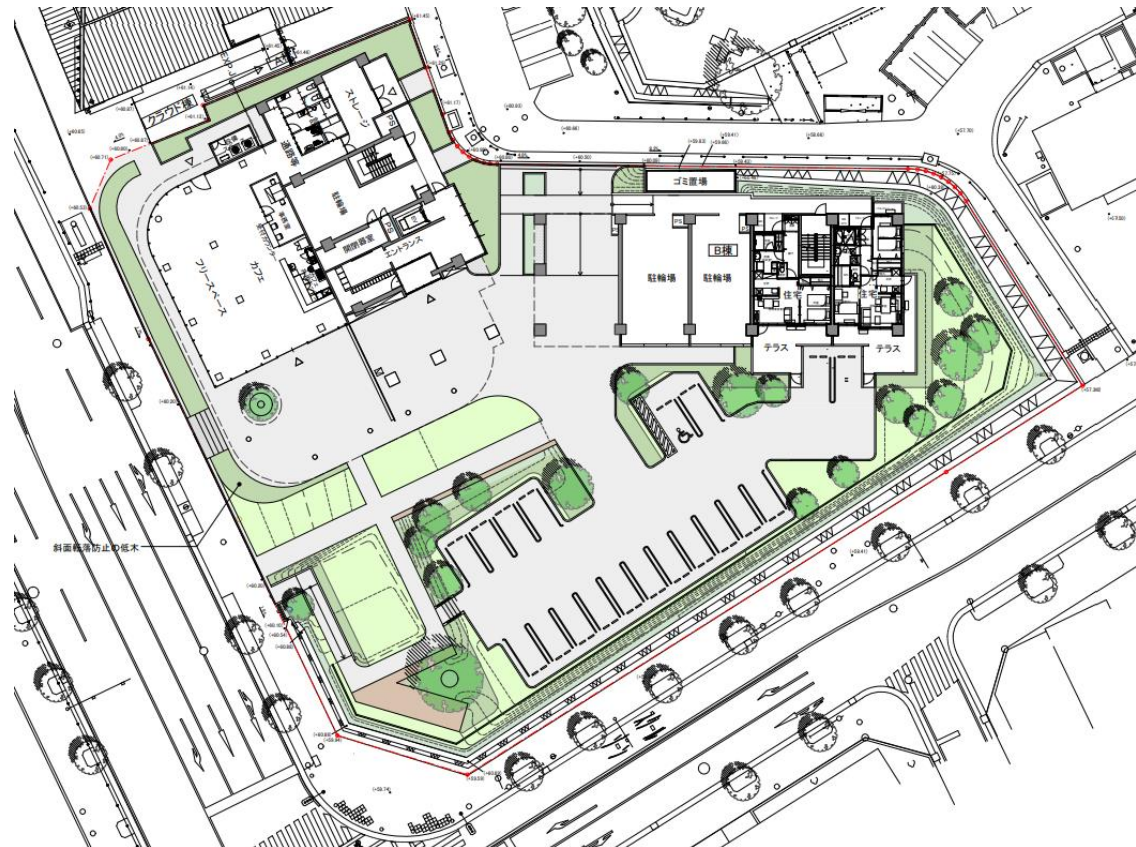
➤ クラウド施設は、「ゆるい」つながりの場を創出し、外出機会を増大させ、新たなコミュニティを形成するとともに、団地の価値を向上させるための新たなコミュニティスペースを想定。クラウド施設運営者については、令和5年7月の決定に向けて調整中。

➤ 【スケジュール】

公募手続き期間 : 令和5年1月～5月

実施設計期間 : 令和5年5月～令和6年3月

工事期間 : 令和6年4月～令和8



2. 洋光台北外壁修繕（長期利活用）の完了及び屋外環境整備

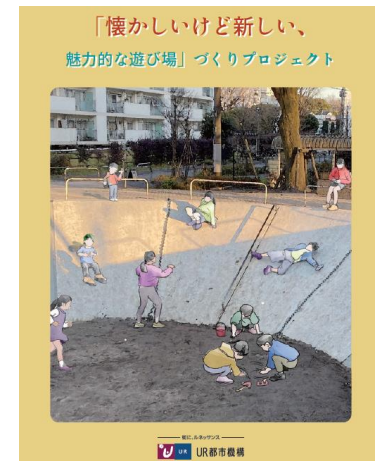
- R4.4「団地の未来プロジェクト」が国際的なデザインの賞である「iFデザインアワード2022」を受賞（SAMURAI事務と共同受賞）
- 外壁修繕工事は、1街区の先行6棟の施工を皮切りに順に整備が行われ、令和5年3月に全住棟の改修が完了。
- 屋外については、芝生広場周辺だけではなく、団地内を回遊できる通路「団地の散歩道」についても再整備を予定（R6夏頃整備完了予定）

<外壁修繕及び広場改修>



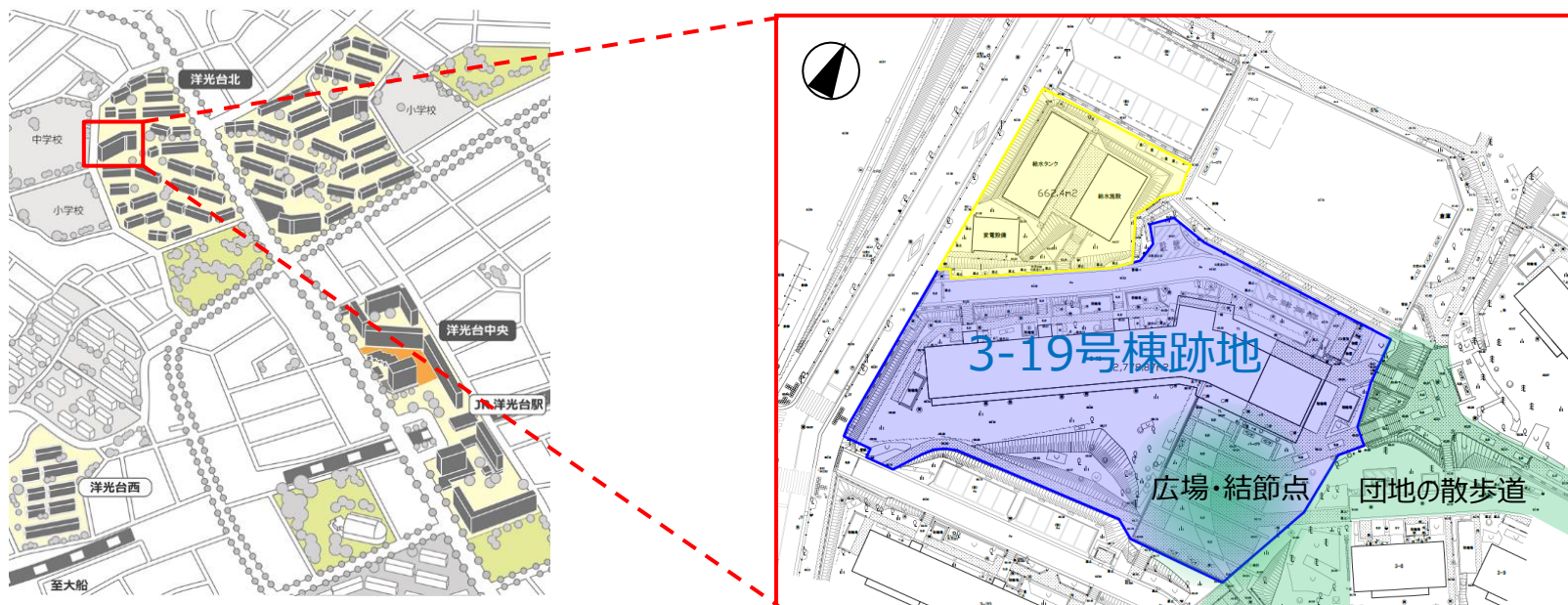
iFデザインアワードのロゴ

<団地の散歩道（改修イメージ）>



3. 洋光台北団地 高層住棟 (3-19号棟) 土地賃貸

- 3街区高層住棟の跡地に対し、「高齢者支援サービス」を誘致
- 団地や地域の付加価値向上や居住者が安心して住み続けられる暮らしの実現を図るために、以下の機能等を導入
 - ① (看護) 小規模多機能居宅介護事業所 (※地域密着型サービス) →横浜市との連携公募該当機能
 - ② サービス付き高齢者向け住宅又は有料老人ホーム
 - ③ 地域交流スペース (30㎡以上)
団地や周辺地域居住者へ貢献する屋内の機能とし、地域交流に資するイベント等の開催を行う。
また、④の広場と連動して使用できる配置。
 - ④ 広場 (150㎡以上)
屋外の地域貢献機能であり、「団地の散歩道」と接続する設え (結節点) とし、誰でも通行できるもの
 - ⑤ 地域ケア会議等への関係者要請による参加 (※地域の生活支援・見守りサービス検討)
- 12/14にURの事業者が決定したが、横浜市と連携した公募となるため、横浜市の事業者として選定された後、正式に土地賃貸借契約が締結される予定。



【参考】洋光台北団地 整備概況図

3-19号棟跡地土地賃貸事業

- ・地域密着型の福祉施設の誘致。
- ・「団地の未来プロジェクト」の一環として位置づけられており、土地賃貸事業者公募において、地域交流スペースの設置や地域活動等イベントの開催を条件としている。
- ・R4.12に事業者が決定し、R5.1 予約契約、R5春頃本契約予定

「団地の散歩道」整備（環境整備（造園）工事）

- ・回遊できる団地内歩行者専用通路を「団地の散歩道」と名付け、芝生広場と同じコンセプトでの再整備を予定
- ・団地内の主要な歩行者動線を透水性コンクリート舗装にて整備（グリーンインフラ）
- ・R6夏頃 整備工事完了予定

1-11号棟（ラウンジ）

- ・R3.3完成
- 1街区ファサード等改修
- ・R4.3完成
- 集会所改修
- ・R2.10オープン

3街区ファサード等改修

- ・R5.3完成予定

1-1号棟の建替計画

- ・団地の未来プロジェクトのねらいとしている「集まって住む」団地ならではの新たな住まい方を提案する建替計画とし、佐藤可士和氏が外壁等を監修。
- ・住棟足元にコミュニティ関連施設を導入予定。
- ・既存住棟の解体：R6.3完了予定
- ・建替住棟建設工事：R6.4着手予定、R8.2完了予定（公募手続き中）

